



# こんにちは、ふちせ栄子です。

電話 095-849-6481 メール eiko@mail.117.cx ホームページ <http://jcpngsk.web.infoseek.co.jp/>

## 県民の願いをになって日本共産党が対政府交渉

### 障害者支援、郵便サービスの維持…多くの前向き答弁引き出す成果が



右から、春名、ふちせ、田村の各氏

7月18日と19日、日本共産党長崎県委員会は多くの県民要求をかかげて政府との交渉を行いました。春名なおあき元衆議院議員(参院比例予定候補)、田村貴昭九州国政対策委員長(衆院比例予定候補)、ふちせ栄子党県国会事務所長(参院選挙区予定候補)も、長崎県代表団15人と行動をともにしました。

総務省との交渉では、「離島・僻地などでも郵便局のサービスは低下させない」という答えがあり、こうしたことが、集配業務廃止計画の延長につながりました。

厚労省では、障害者施設への助成条件として「一日10人以上の障害者が利用する」という規程は、「平均で10人以上であればよい」ことを認めさせました。施設運営者や障害者にとっては良い方向が示されたこととなります。

諫早市で問題になっているゴミ焼却場については、環境省が直接現場を調査することを約束させました。また、文科省では、離島の教員住宅の建て替えへの国の補助については「特別の配慮をする」ことを認めさせました。

ふちせ栄子さんは、「県民の生の声をぶつけて真剣に政府に迫りました。『住民こそ主人公』の立場を貫く日本共産党だからこそその成果ではないでしょうか」と話しています。

### 被爆地の「折り鶴」の宿…

#### 栄子の「ちょっとエッセイ」(7/24)から



党長崎県委員会は総勢15名で、7月18日から19日、県民の切実な要求49項目について政府交渉を行いました。

出発前日は長崎市内のビジネスホテルに宿泊しましたが、部屋のテーブルに折り紙が置かれてあったのです。「長崎で平和を感じていただき、皆様のお気持ちを思い出と一緒に千羽鶴に託していただければと用意致しました。大切にお預かりし、8月9日に平和公園へ寄贈させていただきます。」と、書き添えられています。

私は、一枚一枚に「被爆地の心を大切に、二度と戦争をすることのないように」と、気持ちを込めて千羽鶴を折り、フロントに預けました。

被爆地のホテルの嬉しい心遣い。こうした積み重ねが、核兵器を廃絶し、平和をつくっていくことにつながるのだと思います。空はどんよりとしていましたが、さわやかな気持ちでホテルを後にしました。(ホームページに掲載中)

郵便局の集配廃止問題、流木対策、僻地の住民も平等に…

ふちせさん、願い実現に一生懸命

離島や僻地の郵便局から「集配業務をなくす」という郵政公社の計画。ふちせ栄子さんは郵便局長と懇談したり、住民の声を聞いたうえで、熊本の郵政公社九州支社や、上京しての総務省に「集配業務を残すよう」強く要請しました。

こうした運動で長崎市、佐世保市、西海市、五島市などで離島の郵便局の集配廃止が延期になりました。

また、大量に押し寄せた流木については、地元の人達と撤去作業をするともに、長崎市や西海市の状況を調査し、月末には抜本的な対策を求めて、金子知事に要請書を渡しました。

また、自治体合併で金融機関が統合され、「還付金などの受け取りが不便になった」という住民の声を受け、その改善を求めて市と交渉(西海市)する…など、県民の願いをどけ、くらし守るために一生懸命です。

自ら撤去作業